

—目 次—

歯質と歯の欠損の診断と治療

- A. 全部床義歯 p.1～43
- a. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態 1
 - (1) 歯槽骨の変化
 - (2) 顔貌の変化
 - b. 可撤性義歯（全部床義歯）の種類、目的及び意義 2
 - (1) 全部床義歯とは
 - (2) レジン床義歯と金属床義歯（材料による義歯の分類）
 - (3) オーバーデンチャー
 - (4) 即時義歯
 - (5) 治療用義歯
 - (6) 顎義歯
 - c. 全部床義歯の製作過程 6
 - (1) 診査
 - (2) 前処置
 - (3) 印象採得
 - 1) 材料
 - 2) 方法
 - 3) 印象採得後の作業用模型製作・調整
 - (4) 咬合採得（顎間関係の記録）
 - 1) 咬合採得の流れ
 - 2) 各ステップのポイント
 - (5) 下顎位・下顎運動の記録、咬合器の操作方法、フェイスボウトランスファー
 - 1) 下顎位
 - 2) 下顎運動
 - 3) フェイスボウトランスファー
 - 4) 下顎運動の測定と咬合器上での顎路角の調整

- (6) 人工歯の選択
 - 1) 人工歯の種類と選択方法
- (7) 全部床義歯の咬合様式とその意義
 - 1) 全部床義歯の咬合様式
 - 2) 人工歯排列
- (8) ろう義歯の試適
- (9) 埋没・重合
- (10) 咬合器再装着・削合・咬合調整
- (11) 全部床義歯の装着、調整

d. 全部床義歯のメンテナンス、リライン及び修理 ・ ・ ・ ・ ・ 38

- (1) メンテナンス
- (2) リライン・リベース・咬合面再形成
- (3) 破折修理

—目 次—

歯質と歯の欠損の診断と治療

A. 歯質と歯の欠損の診断と治療 p.1～29

- a. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態 1
- b. 可撤性義歯の種類、目的及び意義 1
- c. 可撤性義歯の特徴と適応症 5
- d. 部分床義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構 6
- e. 部分床義歯の製作過程 15
 - (1) 部分床義歯の咬合様式とその意義
 - (2) 部分床義歯の設計原則
 - (3) 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法
- f. 部分床義歯のメンテナンス（調整）、リライン及び修理 25

☆補足☆. 部分床義歯における印象採得・咬合採得の種類と方法

— 目 次 —

歯質と歯の欠損の診断と治療

- A. クラウンブリッジによる治療 1
- a. クラウンブリッジの意義と具備条件
 - (1) クラウンブリッジの要件
 - b. クラウンおよびブリッジの種類、適応、特徴
 - (1) クラウンの種類
 - (2) ブリッジ
 - c. クラウンブリッジにおける診察、検査、診断
 - d. クラウンブリッジの製作過程における基本的手技
 - e. 支台築造の意義、種類や特徴
 - (1) 支台築造の目的
 - (2) 支台築造の種類、特徴
 - (3) 築造窩洞形成、ポスト孔形成
 - f. 支台歯形成の意義と方法
 - (1) 支台歯形成の原則
 - (2) 支台歯形成の方法
 - (3) 生活歯形成時の注意事項
 - g. クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法
 - (1) 印象法
 - (2) 印象材
 - (3) 咬合採得
 - h. 色調選択（シェードテイキング）
 - i. プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法
 - (1) プロビジョナルレストレーションの臨床的意義
 - (2) プロビジョナルレストレーションの製作法
 - (3) プロビジョナルレストレーションの試適、仮着時の確認事項
 - j. 研究用模型と作業用模型の製作法
 - (1) 歯型可撤式作業模型
 - (2) 副歯型式模型
 - (3) 歯型固着式模型
 - (4) ガム模型

k. 平均値咬合器と調節性咬合器の種類と特徴

- (1) 解剖学的咬合器
- (2) 非解剖学的咬合器
- (3) その他の咬合器

l. クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作

- (1) ろう型形成

m. クラウンブリッジの装着方法

- (1) 装着手順

n. クラウンブリッジ装着後のメンテナンス

B. 口腔インプラント 30

a. 口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義

- (1) 口腔インプラントについて

b. 口腔インプラントの適応症と合併症

c. 口腔インプラントに必要な診察と検査

d. 口腔インプラントの治療計画、治療手順

e. 埋入手術方法

f. 口腔インプラントの上部構造の印象採得と咬合採得

g. 口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法

h. メンテナンス